



スイッチの接点について

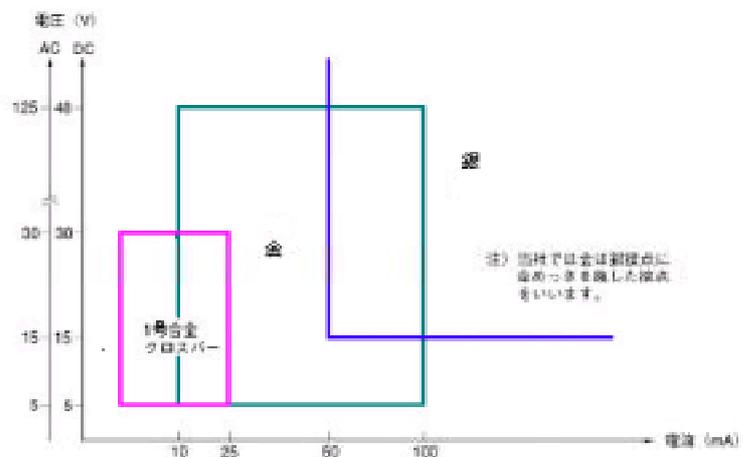
サンミュールンのライトスイッチ・押しボタンスイッチの接点には

1. 銀接点 2. 銀(金メッキ)接点 3. 1号合金クロスバー接点の3種類があります。

<p>1. 銀接点</p> <ul style="list-style-type: none"> 接点材料にAg(銀)を使用しています。導電率・熱伝導がともに大きく、低い接触抵抗を示し、広く利用されています。 短所は銀の酸化や硫化による皮膜を生成しやすく、微少負荷領域では注意を要します。接点の形状は丸形で中華鍋の底のような形です。 	
<p>2. 銀(金メッキ)接点</p> <ul style="list-style-type: none"> 銀接点にAu(金)の薄メッキ(1.5μ)を施したもので、接点母材の保管中の保護が目的です。 銀接点に比べるとある程度の接触安定性を得ることが出来ます。 	<p>銀・銀(金メッキ)接点形状</p>
<p>3. 1号合金クロスバー接点</p> <ul style="list-style-type: none"> 微少負荷領域に適しています。 接点材料に1号合金というPt(白金)6%、Au(金)69%、Ag(銀)25%の非常に高価な化学的に安定した金属を使用しています。 断面の形状は三角形でこれをを十字にクロスさせて開閉する事により、汚染物が接点に沈積するのを防ぎ、通常の銀接点に比べて単位面積あたりの接点接触圧も向上します。 	<p>クロスバー接点形状</p>

上述の3接点がどのような負荷電圧、電流の範囲で使用するのが適当であるかを模式図に示しました。ただしスイッチの種類、動作条件、周囲環境条件、負荷の種類などによって使用可能な領域が変動することがあります。

右の図はあくまでも目安になります。一般的にはお客様サイドで接触信頼性のレベルをどの程度まで求めるかによります。



近年はコンピュータや情報社会の発達にともない**微少負荷領域**でのスイッチが多く使われるようになり、1号合金クロスバー接点の需要も伸びてきました。サンミュールンでは下記のライトスイッチ/押しボタンスイッチ類に1号合金クロスバー接点を採用しております。

AH、CH、EH、EH-G、FH、KH、WH、XH、YH、TA、PH